

東風

HARUKAZE

令和3年3月24日発行

高潔性・公益性

それぞれ進級する 2・1年生の皆さんへ

同学年・異学年集団でめざすもの

修了式での各学年・生徒会代表者の振り返りを踏まえ、同学年・異学年集団として、この1年で成長したところ、令和3年度で期待したいところを、それぞれ述べます。

1年生です。他者の話を聞く態度、集中して学びに向かう姿勢は、入学後の半年で確実に高まりました。「つながる言葉」であふれる学年集団に成長してほしいと期待しています。まずは、自分から、相手を見て、さわやかな挨拶でつながる学年集団になることが1学期の目標です。積極的で明るく元気なところが皆さんの強みです。未来に向かうプラスのエネルギーにしていきましょう。

2年生です。廊下を歩くと、いつもさわやかな挨拶が響き渡ります。自分史上のベストに果敢に挑戦する全体が醸し出す雰囲気は、間違いなくお互いを成長させています。大きな声を出さなくとも、ひっつかなくとも、心と心を通わせることができる、一回り、大人の集団をめざしましょう。多くの2年生は、逞しい芯が備わってきました。“たおやか”さ、つまり、しなやかで折れない強さと、浮つかない立居振舞の美しさが随所に見られます。東中が大切にしているSDGsの目標11は「住み続けられるまちづくり」です。誰ひとり取り残すことなく自他の価値と能力を發揮できるまちづくりを、担い発信できる先輩学年集団になってほしいと期待しています。

生徒会活動です。いじめゼロサミットを受け、全校で取り組んだ「あったかミーティング」は素晴らしいものでした。登校時の手指消毒のとき、「ありがとう」と言ってくれる人が増えたと、生徒会役員も実感しているのが何よりの成果だと思います。また、「地域に愛される部活動にしたい」との思いから発足した「鮮緑会（部長会）」でも、登下校中の挨拶に率先して取り組んでいます。「東中ができる地域が明るくなったね」「地域がきれいになったね」「地域が安全になったね」…、そのような声が地域から届いたら異学年集団の目標達成です。2年生リーダーが、すすんでまちをきれいにしてくれた“たおやか”な行いで、「感動した」「ありがとう」の声が届いています。笑顔の挨拶の輪を広げ、子どもから大人まで、顔見知りの関係を築いていきましょう。

生徒会スローガン「真価」や東中校区いじめゼロサミット「共同宣言」を具現化するためには、まず、①違いを認め合うことがスタートラインです。個性はみんな違ってみんないいのです。そして、②「自助」に努めること。自律するといつてもいいでしょう。ここまで小学生の皆さんもできてほしいことです。次に、③励まし合い、応援し合いながら「共助」に努めること。ここからが中学生の本領です。さらに、④学び合い、新しい価値を創造すること。他者の強みやよさを、すすんで借りましょう。最後に、⑤目標をしなやかに成し遂げていくことが大切だと考えています。

皆で行う「学校行事での取組」「いじめをなくす取組」「地域に挨拶の輪を広げる取組」、一人一人が「やり遂げたい」大会や発表会、一人一人が「成し遂げたい」自己ベストの結果や進路、そのすべてに①～⑤は当てはまります。今の自分の努力や工夫が必ず未来の自分を助けてくれます。

「成し遂げたい」地点に導いてくれます。1日1日を大切に、1ミリでいいから努力・工夫を積み重ね、1センチでいいから前に進んでいく、そのような同・異学年集団、令和3年度にしましょう。

令和2年度 本当にありがとうございました

上記にあるような、生徒の行いを温かく見守り、励ましていただけましたこと心より感謝申し上げます。「東中ができる3年。地域が笑顔の挨拶で明るくなったね。地域が顔見知りになって安全になったね。」と皆様から思ってもらえるような学校をめざしてまいります。次年度より、東風はメールによる配信とさせていただきます。令和3年度もご指導・ご鞭撻のほどお願ひいたします。